

第2章 望ましい環境像と基本目標

ここでは、環境に対する基本的な価値観や目的を示した「基本理念」、20～30年後に実現させたい島田市の「望ましい環境像」を実現するための5つの「基本目標」とそのイメージなどを示します。



第1節 基本理念

基本理念とは、環境に対する基本的な価値観や目的のことをいいます。

本計画の基本理念は、「島田市環境基本条例」の第3条に掲げられている基本理念と共通とします。

- すべての市民は、人類の存続の基盤である限りある環境が将来にわたって適切に維持され、人と自然とが共生できるような多様な自然環境を、体系的に保全及び創造をしなければならない。
- すべての市民は、地球環境の保全が自らの課題であることを認識し、環境への負荷の少ない持続的な発展が可能な社会の構築を目的とした取組を、自主的かつ積極的に行わなければならない。

第2節 望ましい環境像

「望ましい環境像」とは、本市がこれからどのような環境を目指して取組を進めていくのかを示す長期的目標であり、20～30年後を想定しています。

本来、本計画の期間は10年間であるため、10年後を目標とするべきですが、環境問題の解決は自然の移り変わりに左右されるだけでなく、私たちのライフスタイルの変革によって成し遂げられるものです。このため、短期間で急激に環境を変化させることは難しいと考えられるため、20～30年後という長期的な視野で取組を進めていきます。

【20～30年後の望ましい環境像】

**大井川が育む みどり豊かな自然と共生する
資源循環型のまち しまだ**



第3節 基本目標と将来イメージ

ここでは、望ましい環境像の実現を図るため、5つの分野ごとに設定した基本目標を示すとともに、基本目標の実現とはどのようなものかを具体的に思い浮かべることができるよう、20～30年後の島田市の環境を「将来イメージ」として表します。

10年間で実施する計画中の施策や取組により、できる限り早い段階で将来イメージを現実のものとしてできるように努めていく必要があります。

1 自然環境の保全

本市は、大井川に代表される河川や森林など、豊かな自然環境に恵まれています。これらの自然は、私たちの暮らしや産業の基盤となっているだけではなく、多様な生き物を育む貴重な資源となっています。そのため、自然環境を将来にわたって保全し、生物多様性の確保に努めていきます。



将来イメージ

- 四季を身近に感じられ、自然とのふれあいを楽しめる場所がたくさんある。
- 大井川をはじめとした川では、魚や鳥など多様な生き物が生息しており、子どもたちも川遊びを楽しんでいる。
- 歴史を感じる自然景観が残されているとともに、各所でホテルが見られ、訪れる人が帰りたくなるような懐かしい環境が再生されている。
- 里地里山では荒廃農地が減少し、木漏れ日の美しい森林、色鮮やかな葉が風にそよぐ広葉樹の植林、茶畑などの景観が広がり、みんなで農作業や余暇を楽しんでいる。
- 都市部では、近代的建築物と緑のバランスがとれた美しい景観が広がっており、まちなかにも清流の親水空間が整備されている。
- 残したい自然と利用したい自然のバランスがとれ、山野の動植物と人の生活の調和が図られている。

2 生活環境の保全

私たちが健康で文化的な生活を送るためには、空気や水がきれいで、不快な音や臭いがせず、かつ有害化学物質による影響がない安全な環境づくりが必要です。そのため、日常生活や事業活動による環境への影響を低減し、安全・安心な生活環境の保全に努めていきます。



将来イメージ

- 下水道や合併処理浄化槽の普及拡大により、中小河川が浄化されている。
- 大井川及び支流の水を汚すような行為をせず、香りの良いアユが育つ清く美しい水環境になっている。
- 水や空気がきれいで、住みやすい生活環境が確保されている。
- 有害化学物質対策なども万全で、安心して安全に住める環境が整っている。

3 資源循環の推進

「ごみになるものを減らす」「ごみを出す前に再利用の方法を考える」「再資源化に協力する」そんな市民の3Rの取組を市・事業者が協力・支援するしくみづくりや、地産地消、グリーン購入を促進するなど、循環型社会の構築を目指します。



将来イメージ

- ごみの減量や資源化が進み、循環型社会の構築に向けて、市民自らが自覚を持って行動している。
- 各家庭で生ごみの自家処理が当たり前になり、生ごみが排出されなくなっている。
- ごみの分別が徹底され、環境に配慮した商品を取り扱う事業者が増加している。
- 一人ひとりがマナーやルールを守り、ごみのポイ捨てや不法投棄がなく、清掃活動をしなくてもよいほどきれいな街並みになっている。
- 地産地消の推進により、食卓には地元のおいしい農産物が並んでいる。

4 地球環境の保全

私たちの暮らしや事業活動が地球環境に影響を与えていることを、市民一人ひとりが自覚し、地球温暖化防止につながる取組を積極的に実践するまちを目指します。



将来イメージ

- 太陽光や小水力などの発電をはじめ、再生可能エネルギーの利活用が進んでいる。
- エネルギーの自給自足ができていくだけでなく、エネルギーの供給地となっている。
- 家庭や事業所の屋根などには太陽光発電が積極的に導入されている。
- 化石燃料に頼らない生活を目指し、市民全員が省エネルギーに取り組んでいる。
- 全ての事業者が環境マネジメントシステムを導入している。
- 河川や水路の豊かな水を活用し、爽やかな風がそよぐクールスポットを積極的に創り出している。

5 環境教育・環境保全活動の推進

島田市の環境の現状を知り、望ましい環境のあり方を考えるため、環境教育や体験学習を積極的に実施し、市民・事業者・市のそれぞれが主体的に、そして協働しながら環境保全に取り組むまちを目指します。



将来イメージ

- 子どもから大人まで多くの市民が環境教育・環境学習に積極的に取り組み、環境保全活動が生活の一部となっている。
- 学校での環境教育が充実し、子どもたちの環境を大切にする心が育まれている。
- 学校や地域には身近な動植物とふれあうことのできる場所が増え、環境教育の場として活用されている。
- 周辺市町との協力・協働により、環境保全に取り組んでいるとともに、グリーンツーリズムの拠点となっている。